

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。また、本年7月に発生した「平成30年7月豪雨」により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心より祈念いたします。

第127期(2018年12月期)第2四半期累計期間の経営成績につきましてご報告いたします。ご高覧頂きますようお願いいたします。

当社は今後とも「世界に通用する医薬品を通じて、お客様、株主、社会、社員に対する責任を果たすとともに、人々の健康に貢献する」という企業ミッションの下、持続的な事業成長と中長期的な企業価値の向上の実現に向け、全社一丸となって取り組んでまいります。今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

2018年9月

代表取締役社長 **高木正一郎**

経営成績について

売上高は、2018年4月に実施された薬価改定の影響を受けたものの、主力製品の価値最大化及び更なる市場浸透・拡大に取り組んだ結果、販売数量が伸長し305億円と前年同期に比べ4億円(1.5%)増加しました。

各重点領域における主要な製品・商品の販売状況につきましては、以下のとおりです。

- 腎・透析領域におきましては、「レミッチ(透析患者における

経口そう痒症改善剤)」は販売数量が伸長したことにより66億円と前年同期に比べ1億円(1.8%)、「リオナ錠(高リン血症治療剤)」は市場浸透・拡大に注力したことにより30億円と前年同期に比べ2億円(8.9%)それぞれ増加しました。

- 皮膚疾患領域におきましては、「アンテベート(外用副腎皮質ホルモン剤)」が27億円と前年同期に比べ3億円(11.3%)減少しました。

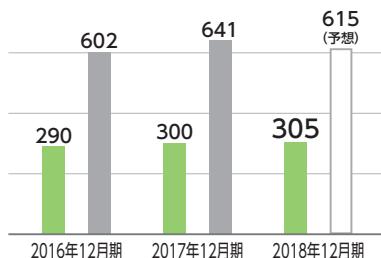
- アレルギー領域におきましては、アレルギー免疫療法の普及に注力したことにより「シグトレン スギ花粉舌下液(アレルギー免

決算ハイライト ■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位:億円)

売上高

第2四半期(累計)実績

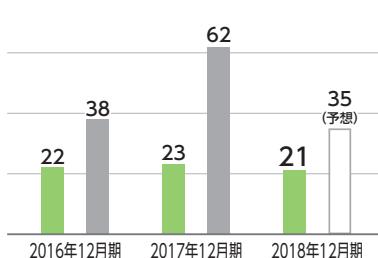
305億円 前年同期比 1.5%増



営業利益

第2四半期(累計)実績

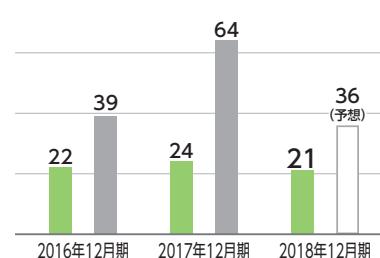
21億円 前年同期比 11.0%減



経常利益

第2四半期(累計)実績

21億円 前年同期比 10.4%減



疫療法薬)は7億円と前年同期に比べ2億円(40.7%)増加しました。なお、2017年9月に日本国内における製造販売承認を取得しておりました「シダキュア スギ花粉舌下錠(アレルギー免疫療法薬)」につきましては、2018年4月に薬価基準に収載され6月に販売を開始しました。

●HIV感染症領域におきましては、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」が7億円と前年同期に比べ20億円(73.3%)減少しましたが、2017年1月に販売を開始した後継品の「デシコビ配合錠(抗HIV薬)」は57億円と前年同期に比べ21億円(62.1%)増加しました。また、「ゲンボイヤ配合錠(抗HIV薬)」は34億円と前年同期に比べ6億円(22.3%)増加しました。

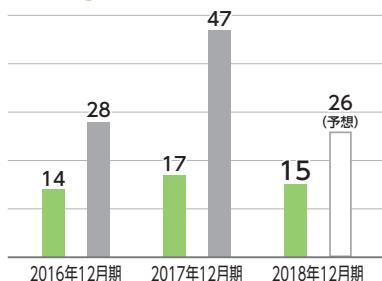
費用面におきましては、売上原価は販売数量が伸長したほか、「シダトレン スギ花粉舌下液」「シダキュア スギ花粉舌下錠」の主原料であるスギ花粉在庫について、一過性の廃棄損失を計上したこと等により158億円と前年同期に比べ10億円(7.2%)増加しました。一方、販売費及び一般管理費は研究開発費や管理費が減少したこと等により126億円と前年同期に比べ3億円(2.6%)減少しました。

以上の結果、営業利益は21億円と前年同期に比べ2億円(11.0%)、経常利益は21億円と前年同期に比べ2億円(10.4%)、四半期純利益は15億円と前年同期に比べ2億円(12.0%)それぞれ減少しました。

四半期(当期)純利益

第2四半期(累計)実績

15億円 前年同期比 12.0%減



通期の業績予想について

通期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績を踏まえ、第126期報告書でご報告した予想数値を以下のとおり修正しております。

	前回予想	修正予想	対前回予想(増減率)
売上高	607億円	615億円	+8億円 (1.3%)
営業利益	35億円	35億円	—
経常利益	36億円	36億円	—
当期純利益	26億円	26億円	—

売上高につきましては、「レミッチ」をはじめとする主力製品の販売状況が計画を上回って推移していること等により、前回予想を上回る見通しとなりました。

一方、利益面につきましては、スギ花粉在庫の一過性の廃棄損失を計上したものの、売上高の増加、販売費の減少等により、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想からの変更はありません。

なお、当期の配当金につきましては、1株当たり年間48円(中間配当金24円、期末配当金24円)を予定しており、前回予想からの変更はありません。

配当について

配当方針

当社は、株主の皆様への適正な利潤の還元を経営の重要課題の一つと認識し、剰余金の配当につきましては、継続的かつ安定的に実施することを基本方針としております。

上記基本方針の下、経営体質の強化や将来の事業展開等を目的とした中長期的な視野に立った投資等に備えることも勘案したうえで、株主の皆様へ安定的還元を行ってまいります。

●中間配当支払開始日 9月4日

1株当たり配当金

■ 中間配当 ■ 期末配当 (単位:円)

